

事業名	視覚障害者援護費			調査番号	40
細事業名	点字広報等発行事業費	財務コード	080706		
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)			3212	

事業の概要

実施期間	始期 S40 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 在宅視覚障害者	その対象をどのような状態にして 点字広報等により、社会生活上必要な情報が提供されている	結果、何に結びつけるのか 視覚障害者の福祉の向上
	事業概要 視覚障害者に対して、公共団体等における行事予定や点字図書の新刊情報などを掲載した点字広報を発行 ・委託先: 社会福祉法人山梨ライトハウス ・毎月1回 計12回/年 ・提供内容: 公共団体等における各種事業及び行事予定、点字図書の新刊情報、視覚障害者関係事業等の特集、解説等		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	広報の発行回数	目標	12	12	12	12	12	12
		実績(見込)	12	12	12	12	12	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	広報内容の満足度調査(「満足」と回答した割合)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績(見込)	81.0	83.0	90.0	87.0	92.0	92.0
		達成率	81.0	83.0	90.0	87.0	92.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		1,386	1,386	1,386	1,426	1,426	1,426	1,284

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	事業受託先が独自に実施している満足度調査の結果から、視覚障害者のニーズは満たされていると判断できる。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	現状の事業内容で視覚障害者のニーズは満たされていると判断されるため		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他(視覚障害者のニーズの変化と技術の進歩を的確に把握し、今後も事業の効率化、創意工夫による改善に取り組み、コンテンツの充実、資料への音声コードの添付などに努める。)		
その他	説明			
見直しの必要性	無			

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。